

すわみつえ通信

No.304 2024年2月19日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

鴻巣市議会3月定例会始まる

2月21日(火)より3月市議会定例会が始まります。教育長任命、農業委員任命など人事議案、条例改定議案、令和5年度補正予算、令和6年度予算など49議案を審議します。市民のいのちと暮らし・生業を守るための市政となるよう取り組みます。

なかでも未来を担う子どもたちに大きく関わる教育行政はとりわけ重要です。教育長任期は3年です。3年前の教育長任命議案では反対6名・賛成17名・棄権2名の結果で現在の教育長が決定しました。

今議会の議案で提案される教育長は、前々回以降同



様の行政出身者であり、さらに3月に定年となる現職の教育部長です。不登校・いじめの問題、小中学校統廃合など、鴻巣の教育の課題に取り組むには教育の現場を経験してきた教育者の力が必要ではないかと思います。2月21日より3月21日の会期で開催する予算議会に皆さんの声を届けてまいります。

鴻巣医師会との意見交換会

文教福祉常任委員会委員は、鴻巣医師会と2月14日(水)19時より意見交換会の機会を持ちました。医師の先生方は日中の診察を終えて大変ご多忙中、会長・副会長を含めた6名のご出席でした。

文教福祉常任委員は、本市健康福祉部と事前学習を行い、当日「高齢化社会において、在宅医療の役割や課題についての共通認識と、医療従事者の安全確保を含めた在宅医療の拡充に向けた課題について」を交流しました。

先生方からは「患者さんと家族の意見が違うこと」「急変したときの病院との連携」「在宅医療を提供する資源の不足」「(ふじみ野市で起きた事件を踏まえて)訪問時の安全確保」「スマホの翻訳システムを使っているが通じない。同時通訳のシステムあれば」と訪問診療の実態が語られました。特に、日頃から診ている患者さんでないことが多いことから、市の特定健診を利用してかかりつけ医を持つことの大切さを話されました。今後の地域ケアシステムを考える上で、大変有意義な意見交換会となりました。

鴻巣駅自由通路で能登救援募金と裏金疑惑徹底説明署名

金曜日スタンディング
鴻巣駅、2月16日



埼玉県央広域事務組合議会2月定例会にて
2月16日(金)埼玉県央広域事務組合議会が開催されました。鴻巣西分署・吹上分署・川里分署等の仮眠室個室化工事等が計画された令和6年度予算が全員賛成のもと可決されました。

ひと足早い誕生会

年金者組合鴻巣支部が2月11日(日)に行った会員の誕生会に3月生まれの当事者として参加しました。心こもる料理をいただき、ビンゴゲームでは直送新鮮野菜をゲット、ハーモニカ伴奏の歌で楽しみました。



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



合宿で知床を訪問
した小学生（左）と
高校生=2023年7月

学校に抵抗感・・・生徒らに「他者と接する場」 元中学教師 移住先北海道でフリースクール

北海道美幌町で、大阪府枚方市から移住した元中学教師佐々木勇貴さん（38）が小中高生向けのフリースクールを運営している。学校に抵抗を感じる子どもらの生活習慣を整え、他者と接する場づくりを重視するほか、デジタル機器に過度に依存しがちな子を集め、大自然を楽しむ合宿も開催。「小さな町だが、教育分野からいろいろチャレンジしたい」と語る。

「ルービックキューブあるよ。俺できるようになってん」。2023年12月、佐々木さんがスクールを訪れた生徒に声をかけた。自主性を尊重するが、独りでスマートフォンやゲームに没頭する子もいて、積極的に意思疎通を図るようにしている。周りの子に一方的に話しかけてしまう生徒には「コミュニケーションには距離感も大事やで」とアドバイスも。

岩手県奥州市出身。大学までバレーボールに打ち込み、2008年4月～2021年12月、大阪府寝屋川市の中学で体育教師として勤めた。地方暮らしに憧れ2022年、美幌町に家族と移住。教育経験を生かし「ゆめとこスクール」を開いた。「夢を語り、かなえるところ」との思いを施設名に込めた。

2023年7月には美幌町や近隣の網走市、斜里町などでキャンプや料理、世界自然遺産の知床散歩などを体験する4泊5日の合宿を企画。東京都や道内から小学生から高校生まで4人が参加した。「初日の夕食はまるでお通夜みたいでした」と佐々木さん。それでも、無理やり全員で遊ばせるのではなく、小説を書きたい子が創作に集中する間はそっと見守るなど、互いを尊重して過ごすうちに打ち解けていった。

短期間で子どもたちの変化を実感したといい「人生には出会いが大事。人と付き合うことはどういうことか、学べる機会になって良かった」。今後も一人一人に寄り添い成長を見守るつもりだ。

（共同通信社 2月12日付）

アマゾン熱帯雨林、半減も 2050年までに 「転換点」到達—ブラジルの研究チームが警告

【サンパウロ時事】南米に広がるアマゾン熱帯雨林が2050年までに、後戻りできない「転換点」に達し、森林の約半分が壊滅的打撃を受けかねないとする研究成果が2月15日付の英科学誌ネイチャーに掲載された。世界最大の熱帯雨林が地球温暖化や森林破壊、干ばつなどにより「これまでにない圧力にさらされている」ためだと警告している。

ブラジルなど南米数カ国が共有するアマゾンの森林は、世界で排出される二酸化炭素（CO₂）の15～20年分相当を吸収し、ためている。水分の大気への放出を通じて気温の実質的な引き下げにも寄与している。

研究は、ブラジルのサンタカタリーナ連邦大学のベルナルド・フローレス氏らのチームが実施した。気候の変化に対して強靱（きょうじん）性を示していたアマゾンの森林に関して、2050年までに全体の10～47%が「予想外の生態系の移行の引き金となり得る」要因にさらされると推計。強靱性が低下して森林の劣化につながる結果、CO₂の吸収力が弱まるなどして「気候変動を悪化させる可能性がある」と結論づけた。（時事通信 2月16日付）



違法に焼き払われ炎を上げるアマゾンの熱帯雨林=2023年9月

2023年分の確定申告始まる 裏金事件 「課税逃れ」に批判

2023年分の所得税の確定申告受け付けが16日、始まった。自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件を巡り、還流分が課税対象とならないことに納税者らから批判の声が噴出した。

東京の浅草税務署で確定申告をした80代女性は「裏金は所得だ。所得はきちんと申告をしないとイケない」と厳しく指摘した。（共同通信 2月16日付）